

区	分	電気**	磁気	地震	重力	放射能
鉱業会社	ラ	○				○
	三菱	○	○			
	松野	○				
	三井	○				
	中外	○	○			
	石原	○				
	昭和	○	○			○
	同管	○	○			
	銅東	○	○			
	日古	○				
その他	原子	○	○			○
	電源	○				
	鉄道	○		○		
	北海道	○	○			
	北海道	○				
	青森	○				
	秋田	○				
	山形	○				
	愛知	○				
	愛知	○				

区	分	電気**	磁気	地震	重力	放射能
その他	岡山	○				
	大分	○				
	鹿児島	○				
	農林省本庁	○		○		
	仙台農地事務局	○				
	東京	○				
	岡山	○				
	福岡	○				
	京都	○				
	金沢	○				
その他	農業技術研究所	○				○
	電力技研	○		○		
	電気試	○	○			
	日本物探	○	○	○		
	国土利用	○	○	○		
	東邦電探	○		○		
	九州物建	○	○			
	鹿島	○				
	地質調査所	○	○	○	○	○
	地質調査所	○	○	○	○	○

注) * 主として観測器械一式の設備を示す なお調査不備の点がありましたら御知らせ下さい ** 電気検層を含めた

今後の問題

今後 わが国は限られた国土において 地下資源を合理的に開発すること また土地を有効に利用することが大いに必要となってくるであろう。このためには地下の状態を合理的に調べることが要求されてくる。このような状態において 物理探査の果す役割はますます増大する傾向が考えられる。

地下資源の探査の場合 如何にして有効に水平的広がり調べることが問題となるが また同時に 深部への探査を広げていくことも大いに必要となってくる。

たとえば 従来探査が困難であった火山岩でおおわれた地帯や 海底下の地下資源も物理探査の進歩によって次第に探査が可能となりつつある。

一方 土地の調査のためにも物理探査は 数多く実施されてきたが 土木事業で要求するような定量的の解答を 物理探査によって与えることができるようになれば 物理探査の役割は 著しく広がることになるであろう。このように 今後物理探査は 著しい発展をすることが期待されるのである。ところで 世界のようにどうかであろうか アメリカ ソ連をはじめ欧米諸国においては活発に物理探査の調査を行っているが これと同時に

基礎的研究をおし進め これをもととして新しい探査方式の応用化に不断の努力を払っているのである。このような物理探査の技術を背景にして はじめて有効なる物理探査の実施が可能となるものといえよう。

わが国の場合は 幾多の機関において物理探査が実施されているが その背景となる物理探査技術の促進については 十分なる考慮が払われているとはいえない状態である。また実施される方法についても 特定の方法に限られる場合が多く あらゆる物理探査技術を 総合的に駆使している場合は比較的少ないといえよう。これらの問題を解決することが 今後のわが国の物理探査の発展のために緊要なことである。

このためには各機関の物理探査の充実を計るとともに 地質調査所の物理探査部が 国内における唯一の物理探査の総合的機関としての性格上 日本における **物理探査技術センター**としての役割を 果し得るような態勢を早急に作るが必要となってきたのである。

物理探査技術センターの役割を果すためには 技術者の充実 新技術の研究 物理探査設備の近代化が 緊要な問題となるのである。

(物理探査部)